合併問題　熱意伝わる説明会に

答弁：反省、改善する

牛房 良嗣 議員

牛房　政治生命をかけて取組まれている6町合併に対する町長の熱意が伝わってこない。

合併は誰のため、なんのためにするのか、6町が合併してどんな町をつくるのか。目標、具体策が何も見えない。もっと具体的な分かり易い説明会にすべきである。

町長　反省し広報、啓発の仕方、出前講座の内容についても具体的な姿が見えるようにしたい。

現空港の移転反対

答弁：国・県・市へ要望

牛房　福岡空港の容量限界に対しては新滑走路の増設と北九州、佐賀空港との連繋を強めることで対応できる。

空港に隣接する市町からもっと積極的に意見を出すべきである。

町長　新滑走路増設案の推進を国、県、市に働きかけていく。

牛房　福岡一極集中が加速されるなか「九州は一つ」の考え方に立つべき。福岡の一人勝ちは不可。

▲福岡空港

防災・減災　危機管理の徹底を

答弁：責任者の役割果たす

丸山 真智子 議員

丸山　災害時に避難所となる学校の耐震化は。

教育長　町内の学校は旧耐震基準の56年以前に建てている。可能な限り耐震化を進めていきたい。

丸山　災害時の要援護者の支援や自主防災組織の結成はどうなっているのか。

福祉課長　現在も支援しているが十分ではない。

町長　なぜ自主防災が必要なのか、まず地ならしが必要で、機運の醸成に取り組んでいる。

「マイはし」の推進

答弁：まずは職員が実行

丸山　地球温暖化防止に今すぐできる「マイはし」運動を推進できないか。

生活環境課長　割り箸は日本で年間258億膳使われている。

海外からの輸入が96％うち98％は中国産。非常に膨大な量を使い捨てている。

町長　小さな一つ一つの積み上げが防止に役立つ。

職員から推進を図る。

その他の質問

○病後児保育の充実

▲東小校区防災訓練

行財政改革　生涯学習館の民営化

答弁：投資的施設である

西川 蓉子 議員

西川　生涯学習館は、一部分の住民が恩恵をこうむる施設となっており、見直しを考えなければならない。

保育園が民営化できて学習館が民間委託できないのはどうしてか、NPO法人なども考慮し、民間委託などに移行する事を検討すべきだ。

副町長　検討したが、利用者の反発もあり、なかなか難しい。

環境整備をしたい。

わんわん監視員の導入

答弁：ぜひ取り組みたい

西川　犬の散歩でふんを持ち帰る方が減っている。犬の飼主相互が監視員となる意識で、マナーが向上できるのでは。

町長　マナー向上のため犬等のふん条例を制定したが、時がたち効果がうすれている現在、効果あるアイデアと思う。すぐにでもとり組みたい。

その他の質問

○ゴミの現状と減量の取り組みについて

○エコバック運動の推進について

▲生涯学習講座

地域福祉　地域自立支援法とは

答弁：自立と社会参加促進

堤 久美子 議員

堤　これまで障害種別ごとに分かれた法律に基づいて提供されてきた福祉サービスが障害者自立支援法でどう変わったのか。

福祉課長　介護給付と訓練等給付に分かれ、訪問系、日中活動系、居住系に分けたところが特徴的である。障害者の方の自立を促進し地域生活移行がしやすくする。

在宅関係では、重度障害者等訪問支援というサービスも整え、在宅生活をしやすくするものです。

高齢・障害者向け住宅

答弁：事情を考慮して

堤　だれもが必要な住まいを確保し、安心して住み続けられる住環境が確保されていなければならないと思うが対応は。

福祉課長　障害のある高齢者の住宅関係は、入居をサポートする安心賃貸支援事業とか、住みかえいわゆる自分に適した広さ、場所、使い勝手を考え、安心住みかえ事業を県が立ち上げ、志免は総務課が窓口になっています。

その他の質問

○ボランティアコーディネーターの必要性について

▲つどいの家